

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	トイレ介助の際に、ドアを開放した状態の支援が見られた。利用者の誇りを損なうようなケースであり「不適切ケアのチェックリスト」に照らし、職員の意識について再点検を望みたい。	ユニット会議やホーム会議で周知徹底行う。	「虐待、不適切ケア」は絶対に行わないように2か月に1度の割合でチェックシートを記入して確認し、日常でも巡視によりチェックを行っている。今後はそれに加え、ホーム会議、ユニット会議等で話し合い、更なる意識改革を行います。	1ヶ月
2	23	利用者の思いや意向を漏れなく把握する事は職員により個人差がある。利用者の思いや意向の把握の意義を職員全体で共有し、介護計画の作成にも生かしたい。	日々の生活の中で利用者様の意向や思いを、居室担当者に責任を持って聞いて、ユニット会議で、職員同士の共有とする。	利用者の思いや要望等、急変時に合わせ随時カンファレンスを開き、職員全体で共有し要望に応えるようにします。	2ヶ月
3	1	新人職員の多い事から、理念を実践にどう反映するかは今後の課題と言えよう。周知した理念を職員の日々の支援に繋げる施策について一考願いたい。	利用者様あつての我々の仕事という事を忘れず、尊厳を持った言動、行動、支援を行う様に指導する。	愛の家グループホーム岐南の理念を作成し毎日唱和して、反映に繋げる様にしている。	2ヶ月
4	4	ホームの主役である利用者様、家族の参加を得て、意見を表す機会としたい。一人でも多くの家族が参加出来る様、働きかけを望みたい。	1人でも多くのご家族様に参加して頂けるよう、お便りや面会時に伝える様にする。	以前からご家族の参加は少なかった。最近入居される方には、参加して頂ける様声掛けしている。	4ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。